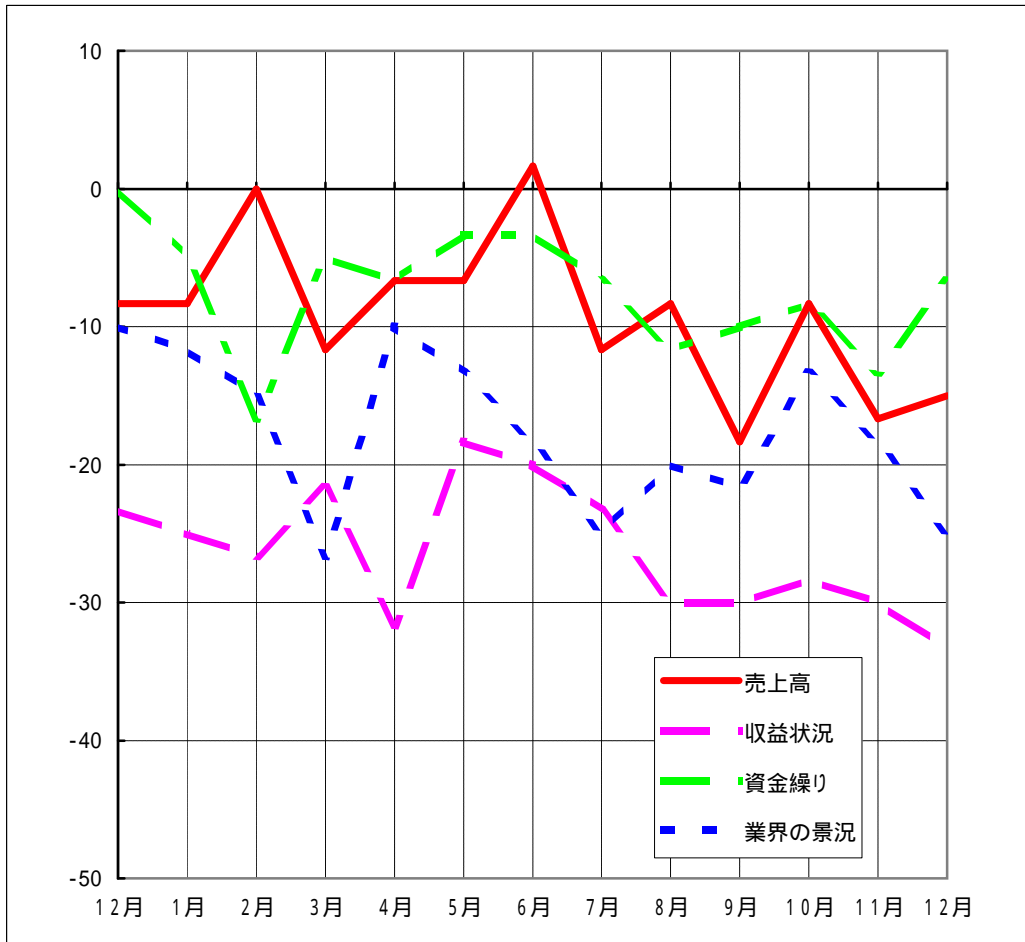


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年12月～平成18年12月

単位:ポイント



H17 H18

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0
収益状況	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3
資金繰り	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7
業界の景況	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0

12月のDI値をみると、前年同月より全項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より6.7ポイント悪化し、マイナス15.0となった。「収益状況」DIにおいては、10.0ポイントの悪化でマイナス30%台に推移。「資金繰り」DIは、6.7ポイント悪化し、マイナス一桁台に推移。「業界の景況」DIは15.0ポイントの悪化で、マイナス25.0となった。ここ3カ月の景況は、「売上高」「資金繰り」で一進一退に推移、「収益状況」「業界の景況」においては下降傾向を辿っている。

組合の特記事項から、製造業では「木材・木製品」「鉄鋼・金属」の一部で組合格差・企業格差はあるものの堅調な受注があるとの報告がある。しかし、他の多くの製造業では依然続いている原材料価格の高値推移等で厳しい状況となっている。

非製造業では災害復興需要が一段落したこと、暖冬・少雪の影響から売上減、収益性悪化、業界の景況悪化と厳しい状況となった。

新潟県内の中小企業は、原材料価格の高騰・価格競争等により収益が圧迫され、相変わらず先行き不透明で厳しい状況が続いていることが窺われる。